



かたくい



令和2年度
第51号

学校教育目標

夢ふくらませ 心かがやく

2021. 2.16

令和2年度の取り組みを振り返って

子どもたちについて

- 新型コロナウイルスにかかわる学校生活への影響について
 - マスクの着用や手洗いの励行が日常化。
 - 学校行事については、制限しつつも実施。
 - ・学習発表会は、学年の発表ごとに入れ替え制で実施。
 - ・運動会は、秋にスポーツ集会として実施。
 - ・修学旅行は、行き先を青森にして実施。
 - ・PTAは、マスクの着用の上、ほぼ通常通りに。
 - 校外学習、体験活動は、密を避ける等、配慮のもと実施。
 - コロナ関係による児童の心理的な不安はほとんど見られなかった。
 - 県の警戒レベルがステージ2になったことから、朝、登校時の健康観察チェックを新たに始め、現在も実施中。

☆学校教育目標「夢ふくらませ 心かがやく」について

【心豊かな子】

- (○) 思いやる……お世話する上級生。縦割り活動で互いに思いやって。
- (○) 仲良くする……学級活動を楽しく。休み時間に時間いっぱい遊ぶ。
- (◎) 協力する……縦割り清掃活動の充実。行事や児童集会での活躍
- (◎) ふるさとを愛する……地域学習・体験学習の充実。

【たくましい子】

- (○) 挑戦する……くりっこチャレンジへの参加率の向上。
- (○) ねばり強くがんばる……家庭学習の継続。くりっこフェスタに向けて等。
- (◎) 運動に親しむ……休み時間の遊び。パワーアップタイムの充実。
- (○) 自分を大切にする……夢のスケッチブックへの記述。(自分を見つめる)

【自らを高める子】

- (◎) 自分に自信をもつ……くりっこチャレンジ。地域学習・体験学習。
- (◎) 目標に向かっていく……自分のめあてに向かって。くりっこチャレンジ。
- (○) 自己の学びを深める……諸活動での様々な気付き。SDGsの意識醸成を図る。
- (○) 問いを発する……活発な授業。(教師の授業スタイルに変化)

※「自らを高める子」については、意識化が進みつつある。今後も継続して。

- ・無欠席……89日/179日 ほぼ2日に1日は無欠席→ご家庭の協力に感謝
- ・いじめ報告件数……発見や報告されたものが2件。いずれも指導後、経過観察中。
※発見や報告されていないものがないとは言い切れない。今後も情報の収集に努めたい。保護者の皆様からの協力も得たい。

くりっこチャレンジについて

- ・「夢をかなえる4つの力（「みんなと協力」「課題に挑戦」「自分を知る」「将来を考える）」を身に付けるために。
(裏面へ)

【実施状況（2／16現在）】

- ・これまで、チャレンジ成功者のべ259名。
- ・冬休み中のお手伝いをくりっこチャレンジにした子ども多数。
- ・個人のチャレンジだけでなく、チームや学級でのチャレンジも。

☆チャレンジ成功した子どもたちの様子

- 自分のがんばりやチャレンジに取り組んだ様子、気付きなどを堂々と話すことができている。
- 活動が自信となり、次への意欲につながっている。
- 参加している子どもたちが、生き生きしているように感じる。

※不定期に出している「くりっこチャレンジ通信」もご参照ください。

授業改善について

※児童が主体的に問題を解決していく姿を念頭に。

○実践重点事項

【かかわり合う展開を意識する】

【一人一人を見取る、支援する】

【ふり返りを充実させる】 ☆今年度のキーワード「ふり返り」

- 若手の教諭が中心となって、教師自身が、児童に気付かせたり、思考をつないであげたり、深めたりする役にまわる授業スタイルを進めようとしている。
- 児童が主体的に活動する授業になりつつある。更なる推進を図りたい。

地域学校協働活動について

- ・11／6の第1回の「熟議」では、地域の方々や保護者の思いを聞くことができた。
- ・2／4の第2回「熟議」では、「子どもたちのために何ができるか。（どんなことをしていくのか）」について、話し合うことができた。
- ・第2回の話し合いの中から、来年度に実施していくものを絞り込み、具現化していくために、「実行委員」を募って話し合いを進めていく予定。
- ・「実行委員」として、現在のところ地域の方々、中学校やこども園関係者、本校保護者の8名が参加してくれる予定。熟議の参加の有無にかかわらず、さらに幅広く参集してほしい。このあと実行委員会（3／22か23に実施の予定）のプリントを配布するので、興味のある方は参加してほしい。

【地域学校協働活動の基本的な考え方】

- ・これからの学びは、これまでの教科学習だけでは不十分。
 - 地域の力を借りて、これから生きていく社会について学ぶ。
 - これまでのふるさと教育に、地域とのかかわりを加え、深めていく。

地域の方々にとっては……。

- ・生きがいにつながる。
- ・学校を介して、地域につながるきっかけとなる。
- ・数年先の地域を担う人材づくりにつながる。
- ・地域の諸問題を解決の方向へ向けることができる。

・地域学校協働活動から生まれる「ふるさと学習」「体験学習」を子どもたちの学びや育ちに効果的につなげていきたい。そして、いずれは地域社会の担い手を育てる活動となるよう、内容を充実させていきたい。